

科目名	徒手理学療法学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年	後期	必修・選択 必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>理学療法士は臨床において徒手理学療法を実施する場面も多い。 徒手療法には様々な方法があり、臨床で実施されている。 この授業では基礎的な内容の習得を目的とする</p>							
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>主に腰痛に対する理学療法を中心に行う。 基礎的な知識面に関しては座学を行い、手技に関しては実技を実施する。</p>							
<p>〔講師の実務経験〕</p>							
<p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕</p> <p>各項目における基礎的な知識と実技を習得する</p>							
回数	講義内容						
1	腰部下肢骨盤帯の解剖学と運動学 触診を含めた基礎的実技						
2	問診とスクリーニング						
3	検査(神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査)						
4	検査(神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査)						
5	検査(神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査)						
6	治療(モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導)						
7	治療(モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導)						
8	治療(モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導)						
<p>【 準備学習・時間外学習 】</p>							
<p>【 使用テキスト 】</p>							
書籍名		著者名		出版社			
腰痛に対する基礎的リハビリテーション		吉田優也		滋慶出版			
<p>【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】</p>							
<p>筆記試験で判定する</p>							